



TITLE:

表紙・投稿規定・プレプリント案内・編集後記・裏表紙ほか

AUTHOR(S):

CITATION:

表紙・投稿規定・プレプリント案内・編集後記・裏表紙ほか. 物性研究 1983, 41(1): 69-72

ISSUE DATE:

1983-10-20

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/91128>

RIGHT:

昭和42年11月14日 第四種郵便物認可
昭和58年10月20日発行(毎月1回20日発行)
物 性 研 究 第41巻 第1号

ISSN 0525-2997

vol. 41 no. 1

物性研究

1983/10

1. 本誌は、物性の研究を共同で促進するため、研究者がその研究・意見を自由に発表し討論しあい、また、研究に関連した情報を速やかに交換しあうことを目的として、毎月1回編集・刊行されます。掲載内容は、研究論文、研究会・国際会議などの報告、講義ノート、研究に関連した諸問題についての意見、プレプリント案内、ニュースなどです。
2. 本誌に掲載される論文については、原則として審査を行いません。但し、編集者が本誌に掲載することを著しく不適当と認めたものについては、改訂を求め、または掲載を拒絶することがあります。
3. 本誌の掲載論文を他の学術雑誌に引用するときは、著者の承諾を得た上で **private communication** 扱いにして下さい。

投稿規定

1. 原稿は400字詰原稿用紙を使用し、雑誌のページ数を節約するために極力簡潔にお書き下さい。
2. 原稿は2部（オリジナル原稿及びコピー）提出して下さい。
3. 数式、記号の書き方は **Progress, Journal** の投稿規定に準じ、立体“ \square ”、イタリック“ $\textit{—}$ ”、ゴシック“ ~ ”、ギリシャ文字“ ギ ”、花文字、大文字、小文字等を赤で指定して下さい。又特に区別しにくい o と a と 0 (ゼロ)、 u と n と r 、 c と e 、 l (エル) と 1 (イチ)、 x と \times (カケル)、 u と v 、 \dagger (ダガー) と $+$ (プラス)、 ψ と ϕ と Ψ と Φ 等も赤で指定して下さい。
4. 数式は3行にわたって大きく書いて下さい。
5. 1行以内におさまらない可能性のある長い数式等は必ず改行の際の切れ目を赤で指定して下さい。
6. 図はそのまま印刷できるもの（原則としてトレースされたもの）とそのコピーを本文と別に論文末尾に揃え、図を入れるべき位置を本文の欄外に赤で指定して下さい。図の縮尺、拡大は致しません。図の説明を含め1頁（ $13 \times 19 \text{cm}$ ）以内に入らないもの、そのまま印刷できない図は原則として著者に返送し、書き改めていただきます。図中の文字は活字にいたしません。図の説明は別紙に書き、原稿に添えて下さい。
7. 投稿後の原稿の訂正はできるだけ避けるようにして下さい。
8. 別刷御希望の方は投稿の際に50部以上10部単位でお申込み下さい。別刷代は別刷代金表（当会にご請求下さい）に従い、別刷を受取ってから1ヶ月以内に納めて下さい。（郵便切手による受付はいたしません。）
9. 原稿締切日は毎月5日で、原則として次月発行誌に掲載されます。

プレプリント案内

[京都大学基礎物理学研究所]

- 10-1 L.S. BRIZHIK and A.S. DAVYDOV
The Electrosoliton Pairing in Soft Molecular Chains
- 10-2 M.F. HOLOVKO, V.S. VYSOCHANSKY and M.V. TOKARCHUK
Application of Orientational-Invariant Expansion Technique to
the Calculation of Virial Coefficients for Binary Distribution
Functions of Mixed Ion-Molecular Systems (R)
- 10-3 A.A. VAKHNENKO
On the Impurity Luminescence in Crystals with Wide Exciton
Band (R)
- 10-4 L.S. BRIZHIK and A.S. DAVYDOV
The Nonlinear Theory of Superconductivity in Quasi-One-
Dimensional Molecular Crystals
- 10-5 YU.V. KALYUZHNY
Atom-Atom Approach in a Theory of Mixed Ion-Molecular Systems.
Basic Account of Short-Range Interactions (R)
- 10-6 V.A. KUPRIEVICH
On Autolocalization of the Stationary States in a Finite
Molecular Chain (R)
- 10-7 A.T. FILIPPOV and YU.S. GAL'PERN
Bifurcations of Fluxon Bound States in Nonuniform Long Josephson
Junctions
- 10-8 V. CHRISTOPH and W. SCHILLER
Self-Consistent Theory of Resistivity Saturation
- 10-9 D.J. MARVAKOV, J.P. VLAKHOV and A.L. KUZEMSKY
A Selfconsistent Theory of Magnetic Semiconductors (R)
- 10-10 N. ANGELESCU, G. NENCIU and N.S. TONCHEV
On the Influence of the Reservoir and of the Shape of the
Fermi Surface on the Phase Diagram of the Two-Band Models
for Cr Alloys

- 10-11 GH. ADAM et al.
Sharp Peak Radiation from 1÷10 GeV Positrons Channeled in Si (R)
- 10-12 N.I. ZIMIN
Coherent Bremsstrahlung and Radiation of Relativistic Channeled Particles in Crystals (R)
- 10-13 M.G. BADZHELIDZE, L. EHN, M. FINGER, Z. JANOUT, N.A. LEBEDEV, V.N. PAVLOV, I. PROCHÁZKA and P. SIMECEK
Nuclear Orientation of ^{149}Pm in Gadolinium Host
- 10-14 O.V. GURIN, V. SIKORA and V.N. SYROMYATNIKOV
Symmetry Analysis of Transitions of the Order-Disorder Type and Possible Structure Deformations
- 10-15 V.L. AKSENOV, A.YU. DIDYK and N.M. PLAKIDA
Ultrasonic Attenuation in Quasi-One-Dimensional Ferroelectrics (R)
- 10-16 A.M. TSVELICK and P.B. WIEGMANN
Scaling and Integrability (The Kondo Problem for the Orbital Singlet)
- 10-17 N. KAWAKAMI and A. OKIJI
Temperature-dependent Susceptibility for the Asymmetric Anderson Model
- 10-18 E. MARINARI, G. PALADIN, G. PARISI and A. VULPIANI
1/f Noise, Disorder and Dimensionality
- 10-19 P. FAZEKAS
Magnetic Gap and Magnetization Curve for a Mixed Valent Semiconductor: A Variational Approach
- 10-20 H. TAKASE, S. KAWATA and K. NIU
Tritium Breeding in DT-DD Hybrid Pellet for Inertial Confinement Fusion
- 10-21 T. ISHIMURA
Multipole Stabilization of Rotational Instability in a Theta Pinch I

- 10-22 S. MORITA
X-Ray Spectroscopic Study of High-Temperature Plasmas by
Curved Crystal Spectrometer
- 10-23 H. DAIDO
Onset of Intermittency from Torus
- 10-24 A. ONUKI
Theory of Helium under Heat Flow near the λ Point II:
Dynamics of Phase Change
- 10-25 T. IMAEDA, A. ONUKI and K. KAWASAKI
Anisotropic Spinodal Decomposition under Shear Flow
- 10-26 K. SEKIMOTO
Kinetics of Magnetization Switching in 1-D System II
— Long Time Behavior of Switched Domains —
- 10-27 K. YAMADA, K. YOSIDA and K. HANZAWA
Comments on the Dense Kondo State
- 10-28 H. DAIDO
Periodic Forcing Near Intermittency Threshold
— *Resonance and Collapse of Tori* —
- 10-29 K. HANZAWA and T. KASUYA
Antiferro-Quadrupolar Ordering in CeB_6
- 10-30 Y. KURAMOTO
Self-Consistent Dynamical Theory for Valence Fluctuations
- 10-31 B.V. VASILIEV
Baroelectrical Effect (R)
- 10-32 H. YAMAMOTO
Commensurate-Incommensurate Cross-over in the One-Dimensional
Quantum Sine-Gordon System ($g^2 = 4\pi$)
- 10-33 T. SUGIYAMA, J. KUMAGAI and K. OKAMOTO
A Theory of a One-Dimensional System of Interacting Electrons
in a $2k_F$ -Periodic Potential
- 10-34 T. IZUYAMA and T. YAMAMOTO
The Fermion Approach to the Commensurate-Incommensurate
System

ニュース

- 10-35 B.L. ALTSHULER, A.G. ARONOV and A.YU. ZUZIN
Size-Dependent Effects in Disordered Metals
- 10-36 V.YU. YUSHANKHAI
The Role of Metastable States in Quantum Diffusion of
Positive Muons in Metals (R)
- 10-37 V.L. AKSENOV and A.YU. DIDYK
Soft Phonon Mode in Crystals with Defects (R)

R : Russian

ニュース

〔東京大学理学部〕

○セミナー

9月19日 “The Formation of Fractal Objects by Diffusion Aggregation” Professor Michael
Nauenberg

〔東京大学教養学部〕

○セミナー

9月2日 “The Dimensionality Problem of Space and Time” Max Jammer

ニュース

- 10-35 B.L. ALTSHULER, A.G. ARONOV and A.YU. ZUZIN
Size-Dependent Effects in Disordered Metals
- 10-36 V.YU. YUSHANKHAI
The Role of Metastable States in Quantum Diffusion of
Positive Muons in Metals (R)
- 10-37 V.L. AKSENOV and A.YU. DIDYK
Soft Phonon Mode in Crystals with Defects (R)

R : Russian

ニュース

〔東京大学理学部〕

○セミナー

9月19日 “The Formation of Fractal Objects by Diffusion Aggregation” Professor Michael
Nauenberg

〔東京大学教養学部〕

○セミナー

9月2日 “The Dimensionality Problem of Space and Time” Max Jammer

掲 示 板

インフォーマルミーティング「カオスとその周辺」のお知らせ。

物理学会において、下記の日程で上記の会合を開きます。多数の方々の参加と話題提供を期待しています。話題をお持ちの方は、下記世話人宛に、3月20日までに連絡して下さい。

日 程：4月3日，17:30～19:00，Ⅳ会場（九大）

世話人：徐 丙鉄，〒812 福岡市東区箱崎九州大学理学部物理

（TEL 641-1101 内線 4150）

編 集 後 記

本誌は「物性研究」として発行されて以来20年になり、本号は成人になったの第一歩です。その前身の時代を含めるとその2倍で私の年令と同じ位ですから、物性物理は息の長い学問かもしれません。その物性物理が成長期にあるのか、中年の働きざかりなのか、晩年で細々と余生を送っているのか。そしてこれからどうなるのか。これらの点を問題として、本号では「これからの物性物理」と題した記念特集を企画しました。学問が細分化、専門化の度を深めるにつれともすれば狭い枠にとじこめられる危険性があります。そのような時、かがめた腰をあげて全体を、また過去・未来をながめるのも自分の位置を確認する上で必要なことかもしれません。寄せられた御意見を拝見しますと、多数の方が物性物理の展望に関して常にまじめな検討を加え、興味ある見解をもち、あるいは実行されているのがわかります。しかし、これらの貴重な見解も「秘めたる決意」として個人の内部にとじこめられてきたことが多いように思います。これらの見解を統一する必要はありませんが、活力ある物性物理の進路を切り開くために、それを公表し、相互に批判しあう場として本誌が利用されれば、本誌にとっても大変光栄なことです。

1982年度修士論文の掲載は本号で終了です。編集部には勝木さんの「聞き書きにもとづく物性物理学史(3)」の力作が届いています。次号に掲載する予定です。

（K. Y.）

掲 示 板

インフォーマルミーティング「カオスとその周辺」のお知らせ。

物理学会において、下記の日程で上記の会合を開きます。多数の方々の参加と話題提供を期待しています。話題をお持ちの方は、下記世話人宛に、3月20日までに連絡して下さい。

日 程：4月3日，17:30～19:00，Ⅳ会場（九大）

世話人：徐 丙鉄，〒812 福岡市東区箱崎九州大学理学部物理

（TEL 641-1101 内線 4150）

編 集 後 記

本誌は「物性研究」として発行されて以来20年になり、本号は成人になったの第一歩です。その前身の時代を含めるとその2倍で私の年令と同じ位ですから、物性物理は息の長い学問かもしれません。その物性物理が成長期にあるのか、中年の働きざかりなのか、晩年で細々と余生を送っているのか。そしてこれからどうなるのか。これらの点を問題として、本号では「これからの物性物理」と題した記念特集を企画しました。学問が細分化、専門化の度を深めるにつれともすれば狭い枠にとじこめられる危険性があります。そのような時、かがめた腰をあげて全体を、また過去・未来をながめるのも自分の位置を確認する上で必要なことかもしれません。寄せられた御意見を拝見しますと、多数の方が物性物理の展望に関して常にまじめな検討を加え、興味ある見解をもち、あるいは実行されているのがわかります。しかし、これらの貴重な見解も「秘めたる決意」として個人の内部にとじこめられてきたことが多いように思います。これらの見解を統一する必要はありませんが、活力ある物性物理の進路を切り開くために、それを公表し、相互に批判しあう場として本誌が利用されれば、本誌にとっても大変光栄なことです。

1982年度修士論文の掲載は本号で終了です。編集部には勝木さんの「聞き書きにもとづく物性物理学史(3)」の力作が届いています。次号に掲載する予定です。

（K. Y.）

物 性 研 究 第41卷 第1号 (昭和58年10月号) 1983年10月20日発行

発行人 長 岡 洋 介 〒606 京都市左京区北白川追分町
京 都 大 学 湯 川 記 念 館 内

印刷所 昭 和 堂 印 刷 所 〒606 京都市百万遍交叉点上ル東側
TEL (075) 721-4541~3

発行所 物性研究刊行会 〒606 京都市左京区北白川追分町
京 都 大 学 湯 川 記 念 館 内

年額 13,200円

会員規定

個人会員

1. 会費：当会の会費は前納制をとっています。したがって、3月末までになるべく1年間分会費を御支払い下さい。
なお新規入会お申込みの場合は下記の会費以外に入会金として、**100円**お支払い下さい。

1年間の会費

1st volume (4月号～9月号)	3,000円
2nd volume (10月号～3月号)	3,000円
	計 6,000円

(1年分まとめてお支払いが困難の向きは1 volume 分ずつでも結構です)

2. 支払いの際の注意：なるべく振替用紙を御利用の上御納入下さい。
(振替貯金口座 京都1—5312) (現金書留は御遠慮下さい)
なお通信欄に送金内容を必ず明記して下さい。
雑誌購読者以外の代理人が購読料を送金される場合、必ず会員本人の名前を明記して下さい。
3. 送本中止の場合：次の volume より送本中止を希望される場合、かならず「退会届」を送付して下さい。
4. 会費の支払遅滞の場合：当会の原則としては、正当な理由なく2 Vols. 以上の会費を滞納された場合には、送本を停止することになっていますので御留意下さい。
5. 一括送本を受ける場合：個人宛送本中に大学等で一括配布を受けるようになった場合は、必ず「個人宛送本中止、一括配布希望」の通知をして下さい。逆の場合も同様です。
6. 送本先変更の場合：住所、勤務先の変更等により送本先が変わった場合は、必ず送本先変更届を提出して下さい。

学校、研究所等機関会員

1. 会費：学校・研究所等での入会及び個人であっても公費払いのときは機関会員とみなし、代金は、1冊 1,100円、1 Vol. 6,600円、年間13,200円です。この場合、入会金は不用です。学校、研究所の会費の支払いは後払いでも結構です。入会申込みをされる時、支払いに請求、見積、納品書が各何通必要かをお知らせ下さい。
なお、当会の請求書類では支払いができない様でしたら、貴校、貴研究機関の請求書類を送付して下さい。
2. 送本中止の場合：発行途上にある volume の途中送本中止は認められません。退会される場合には、1ヶ月前ぐらいに中止時期を明記して「退会届」を送付して下さい。

雑誌未着の場合：発行日より6ヶ月以内に当会までご連絡下さい。

物性研究刊行会

〒606 京都市左京区北白川追分町 京都大学湯川記念館内

☎ (075)751-2111 内線7051 (075)722-3540(直通)

物 性 研 究 41—1 (10月号) 目 次

○非線型項をもつ波動方程式の半離散化……………成田和明…………	1
○修士論文 (1982年度)	
量子統計力学的レーザー基礎方程式の導出と その物理的考察……………富永哲雄…………	3
○物性研究20周年記念特集 “これからの物性物理” ……………	45
○プレプリント案内……………	69
○ニ ュ ー ス……………	72
○掲 示 板	
インフォーマル・ミーティング「カオスとその周辺」のお知らせ ……………	73
○編集後記……………	73

物 性 研 究 41—1 (10月号) 目 次

○非線型項をもつ波動方程式の半離散化……………成田和明…………	1
○修士論文 (1982年度)	
量子統計力学的レーザー基礎方程式の導出と その物理的考察……………富永哲雄…………	3
○物性研究20周年記念特集 “これからの物性物理” ……………	45
○プレプリント案内……………	69
○ニ ュ ー ス……………	72
○掲 示 板	
インフォーマル・ミーティング「カオスとその周辺」のお知らせ ……………	73
○編集後記……………	73